



大牟田市消防団広報紙

しよらびん だらびん



団長挨拶

堺 藏次

平成28年は自然災害に見舞われた年でした。

1月末に発生した大寒波による市内全域にわたる断水、4月14日と16日の熊本地震、6月下旬には集中豪雨が発生し、大牟田市消防団としても緊張を余儀なくされた事案でした。私たち消防団員は、このような災害で被害を最小限度に食い止めるためにも、日頃の訓練が必要不可欠だと考えております。

さて、今年度は2年に一度開催される福岡県消防操法大会が9月11日に開催されました。大会へ向け選手たちは、5か月間に渡り訓練を実施し、結果は7位と入賞を逃しましたが、訓練過程における技術の向上と全団員の団結は素晴らしいものでした。また、11月13日には、署団合同の防ぎょ訓練、年末には市内全域で特別警戒を実施します。更に、1月8日に開催される出初式では、第1部の文化会館での式典に続き、第2部は市役所正面玄関前を分列行進、第3部では笹林公園にて消防操法及び放水訓練と小隊訓練を披露します。小隊訓練においては、東部方面隊の三池・高取・白川・平原・羽山台分団が合同で10月から展示に向け訓練を実施しております。

訓練に次ぐ訓練になりますが、それが消防団の使命であり、災害時における被害の軽減に繋がるものと確信しております。また、このような訓練や活動を行う新たな消防団員を、現在の団員数665名から定員の700名に向け拡大していきたいと考えております。

最後に、大牟田市市民の安心安全の為、消防団活動に邁進してまいりますので、これからも大牟田市消防団へのご理解とご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

大牟田市総合防災訓練

第7号

2016年11月発行

発行：大牟田市消防団予防委員会



8月28日(日)防災関係機関による大牟田市総合防災訓練が諏訪公園で開催されました。地震・津波による災害を想定し、市民や訓練参加者による一斉防災行動訓練を始め情報伝達、ライフライン復旧、水防工法、給食・給水等総合的な訓練が実施されました。救出救護訓練中には、救助事案が発生し訓練が中断するというハプニングも起こりました。消防団員は土の積み、女性団員は自衛隊と合同で災害時の炊き出しを行ない、見学者等に600食のカレーライスと500本のペットボトル飲料水がふるまわれました。

また、11月20日(日)には、倉永校区まちづくり協議会、地域住民等による防災訓練が開催されます。

第24回福岡県消防操法大会

9月11日(日)に「第24回福岡県消防操法大会」が福岡県消防学校で開催されました。今回大牟田市消防団は、小型ポンプの部で参加しました。選手たちは、約5ヶ月の練習期間を経て大会に挑みましたが、21チーム中7位という結果で、今大会の幕を閉じました。





指揮者 河野 匠

早くからきて準備をしてくださった皆様のおかげで、訓練ができたことを本当に感謝しています。操法大会は、他の分団の方との輪が広がり、絆が深まると思います！自分はまた挑戦したいです。



1番員 池田 武史

5ヶ月間の訓練、そして県大会を終え、今思うことは「感謝」です。

サポーターに来て頂いた各分団の方々、暑い中、わたしが展覧を送ってくださいました。監督をはじめ、指導員、各分団のサポーターの方々は、早い時間から訓練の会場設営をして頂きありがとうございました。とても気持ちよく訓練ができました。最高の仲間と過ごした夏でした。この経験を活かし、来年の市内大会は、優勝を狙います。



2番員 吉田 健太

消防署・団、家族、会社の多くの皆様に支えられて万全な状態で操法大会に挑むことができました。

優勝とはいかず悔しい思いもしましたが、一生の仲間もでき、監督・指導員の方々など色々な繋がりもできました。この5ヶ月間とても楽しかったです。今まで支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。



3番員 世戸口 隆之

今回、自分が選手に選ばれて選手皆で上を目指して練習してきました。入賞できなかったけど練習通り良い操法が出来たと嬉しいです。

監督・指導員・各分団のサポーターにきてくださった皆様、暑い中の応援ありがとうございました。ま



補助員 荒木 隆志

「署・団一致」！大牟田市消防はこの伝統の下、活動を行っています。今回の操法を通じて、改めてその言葉の重み、有難さを感じました。関係者の皆様の協力があったからこそ、今大会を乗り越えることができました。



補助員 池田 宗久

「絆」操法を通じて、選手は元より他の分団員・指導員・サポーターの方々等、数多くの協力の下、頑張つて来れました。今回培った絆は日頃の分団活動以上の絆となり、火災現場で市民の方々の生命・財産を守る上で、欠かせないものになると感じています。



監督講評 副団長 杉野 和則

今大会を振り返ると、まず3月に操法大会の選手応募が始まり、17名のエントリーで4月4日より訓練が開始されました。最初は、第2体育館1Fで週2日のペースで訓練を行っていましたが、熊本地震等の影響で練習に参加できないメンバーも出たり、多難な出だしでした。6月には、選手選考で6名に絞り本格的な訓練を、石炭産業科学館横へ移し、そこからは天候にも恵まれサポーターの皆さんの設営やホース巻き等の迅速な作業のおかげで、スムーズに訓練ができました。8月に入り90秒ルールの設置準備から撤収まで、大会さながらの訓練を行いました。選手や指導員も疲れが見え始めておりましたが、気力で乗り切ったように思います。大会は、21チーム中7位と入賞こそ逃したものの、選手たちはそれぞれの力を十分に発揮できたのだと思っております。

この大会までの訓練を通して大牟田市消防団の団結や資質向上に繋がっており、今後の飛躍になるいい訓練であり、大会だったのとは感じております。また、来年は、「大牟田市消防団ポンプ操法大会」が開催されます。各分団一丸となり訓練に励み、大会に臨んでほしいと願っております。最後になりますが、選手達がこの5ヶ月間頑張つて来られたのは、ご家族・会社・サポーターにきてくださった各分団の皆様のご理解とご協力があったからだと、私を含め選手・指導員一同心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

女性分団 火災予防啓発運動

私達女性分団では、発足当時より子ども達を対象にした防災教室を行いたいと話し合ってきました。今年度団員の発案で火災予防に関するデジタル紙芝居を作成致しました。現在は、手始めに市内の学童保育所のご協力をいただいて活動を行っております。今後は、学校や福祉施設、ショッピングモール等での活動に活かしていきたいと考えております。





秋の全国火災予防運動



11月9日(水)から15日(火)まで「秋の全国火災予防運動」です。消防団では、各分団で地域を巡回し火災予防の広報活動を行います。また、女性分団は、イオンモール大牟田やゆめタウン大牟田において火災予防のチラシ配布やアンケート調査を行いますので御協力をお願いします。

消防団員募集!!

男女不問

大牟田市消防団では、団員を募集しています。消防団員は、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動や救助活動を行う特別地方公務員です。新たに消防団に入団した3名にインタビューしてみました。

入団希望のお問い合わせは

(総務課 消防団係) ☎53・3522

新入団員 Q&A

- ① 入団したきっかけは? ② 入団した感想は?
- ③ どういう活動をしていきたいか

みなと分団1部 吉野 哲規

① 会社からの後押しもありましたが、大牟田市民の役に立ちたいと思い入団しました。

② 地域に貢献している実感はまだありませんが、頼られるように頑張りたいです。

③ 消防団員として、地域の人達に喜ばれたり、貢献できるような活動をしていきたいです。

みなと分団1部 乗富 拓人

① 地域の役に立ちたいという気持ちで入団しました。

② 率直なところまだまだあまり実感がありませんが、頑張っていきたいです。

③ 与えられた自分の役目を、しっかりやっけていきたいです。

みなと分団1部 中原 隼誓

① 地域の役に立ちたいという強い思いで入団させて頂きました。

② 消防団の行う運動や活動が、思いのほかあることに驚きました。早く覚えて頼られるような存在になりたいと思います。

③ 地域の人達に喜ばれるような活動をしていきたいです。

今後のスケジュール

- ★ 秋季火災予防運動 11月9日～15日
- ★ 署合同訓練(南部方面隊) 11月13日
- ★ 年末夜警 12月29日・30日
- ★ 消防出初式 1月8日
- ★ 春季火災予防運動 3月1日～7日
- ★ 署合同訓練(北部方面隊) 3月5日
- ★ 消防団献血 3月12日
- ★ 新入団員式 4月中旬予定
- ★ しよう太くんだより 第8号発刊(5月予定)



編集後記

4月から訓練を開始した第24回福岡県消防操法大会が終了しました。選手・指導員・警防委員会・団本部それから各分団のサポートの皆様、本当にお疲れ様でした。来年度は、第22回大牟田市消防団ポンプ操法大会が開催されます。各分団が互いに切磋琢磨し、訓練することで更なる資質向上に繋がる事でしょう。私達予防委員会では、訓練風景等を取材に伺いたいと考えておりますので、その時はよろしくお願いします。

最後に、来年の出初式では、小隊訓練を東部方面隊が担当致します。寒い中での短期間の訓練で大変ですが、一致団結して頑張ってください。